

2021年 為替相場展望

チーフ・FXコンサルタント

兼 マネックス・ユニバーシティ FX学長

2021.5.15

吉田 恒

FX PLUSおよびマネックスFX（外国為替証拠金取引全般）に関する重要事項

＜リスク＞

FX PLUSおよびマネックスFXでは、取引対象である通貨の価格の変動により元本損失が生じことがあります。また、取引金額が預託すべき証拠金の額に比して大きいため（最大25倍（具体的な倍率は当社ウェブサイトをよくご確認ください））、取引対象である通貨の価格の変動により、その損失の額が証拠金の額を上回る（元本超過損）ことがあります。さらに取引対象である通貨の金利の変動により、スワップポイントが受取りから支払いに転じことがあります。FX PLUSおよびマネックスFXでは、損失が一定比率以上になった場合に自動的に反対売買により決済されるロスカットルールが設けられていますが、相場の急激な変動により元本超過損が生じことがあります。加えて、FX PLUSおよびマネックスFXでは、相場の急激な変動により、意図した取引ができない可能性があります。FX PLUSおよびマネックスFX（店頭取引）では、当社・カバー先の信用状況の悪化等により元本損失が生じことがあります。

＜手数料等＞

FX PLUSおよびマネックスFXでは、取引手数料はかかりません。

FX PLUSおよびマネックスFXでは、通貨ペアごとにオファー価格（ASK）とビッド価格（BID）を同時に提示します。オファー価格とビッド価格には差額（スプレッド）があり、オファー価格はビッド価格よりも高くなっています。流動性の低下、相場の急激な変動により、スプレッドの幅は拡大することがあります。

＜証拠金＞

FX PLUSおよびマネックスFXでは取引通貨の為替レートに応じた取引額に対して一定の証拠金率以上で当社が定める金額の証拠金（必要証拠金）が必要となります。一定の証拠金率とは以下のとおりです。ただし、相場の急激な変動等の事由が発生した場合には当社判断により変更することがあります。

（個人口座）

FX PLUSでは、原則4%（一部の通貨ペアでは8%、詳細は当社ウェブサイトをご確認ください）とします。

マネックスFXでは、レバレッジコースに応じ、4%（一部の通貨ペアでは8%、詳細は当社ウェブサイトをご確認ください）～100%の間で証拠金率を定めます。

（法人口座）

金融商品取引業等に関する内閣府令第117条第27項第1号の定める定量的計算モデルにより金融先物取引業協会が算出した通貨ペアごとの為替リスク想定比率です。ただし、金融先物取引業協会の算出した為替リスク想定比率が、当社が通貨ペアごとに定める最低証拠金率（原則1%、一部の通貨ペアでは8%、詳細は当社ウェブサイトをご確認ください）を下回る場合には、当社が通貨ペアごとに定める最低証拠金率を優先させることとします。

＜その他＞

お取引の際は、当社ウェブサイトに掲載の「契約締結前交付書面」「リスク・手数料などの重要事項に関する説明」を必ずお読みください。

セミナーに関するご留意事項

本セミナーでは、セミナーでご紹介する商品等の勧誘を行うことがあります。

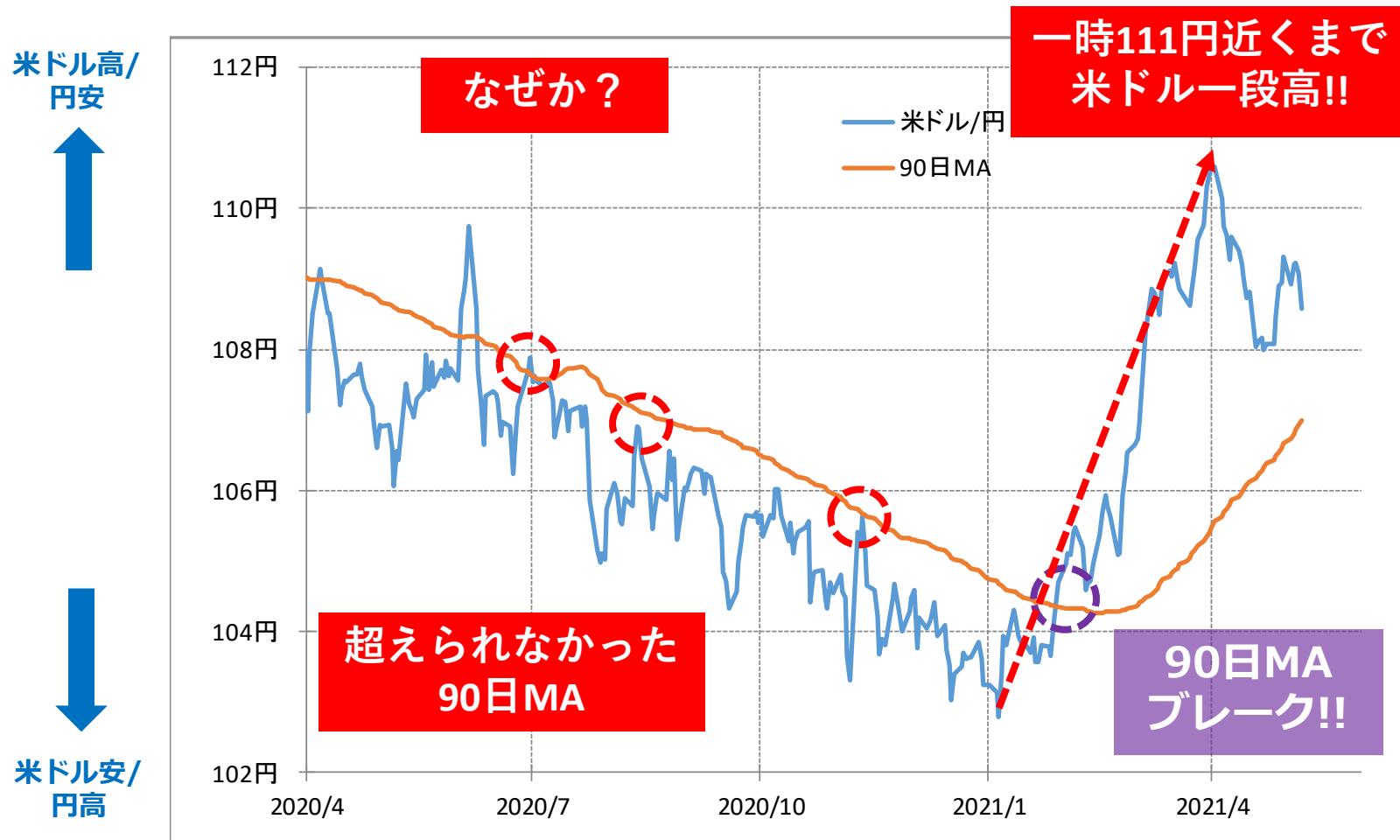
マネックス証券株式会社および説明者は、セミナーおよび関連資料等の内容につき、その正確性や完全性について意見を表明し、保証するものではございません。情報、予想および判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではございません。過去の実績や予想・意見は、将来の結果を保証するものではございません。

提供する情報等は作成時または提供時現在のものであり、今後予告なしに変更・削除されることがございます。当社および説明者はセミナーおよび関連資料等の内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではございません。銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようにお願いいたします。なお、セミナーおよび関連資料等は当社および情報提供元の事前の書面による了解なしに複製・配布することはできません。記載内容に関するご質問・ご照会等にはお応え致しかねますので、あらかじめご容赦ください。

マネックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人 日本暗号資産取引業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

【米ドル/円と90日MA(2020年4月～)】



(出所:リフィニティブ・データよりマネックス証券が作成)

【米ドル/円の90日MAからのかい離率(2020年4月～)】

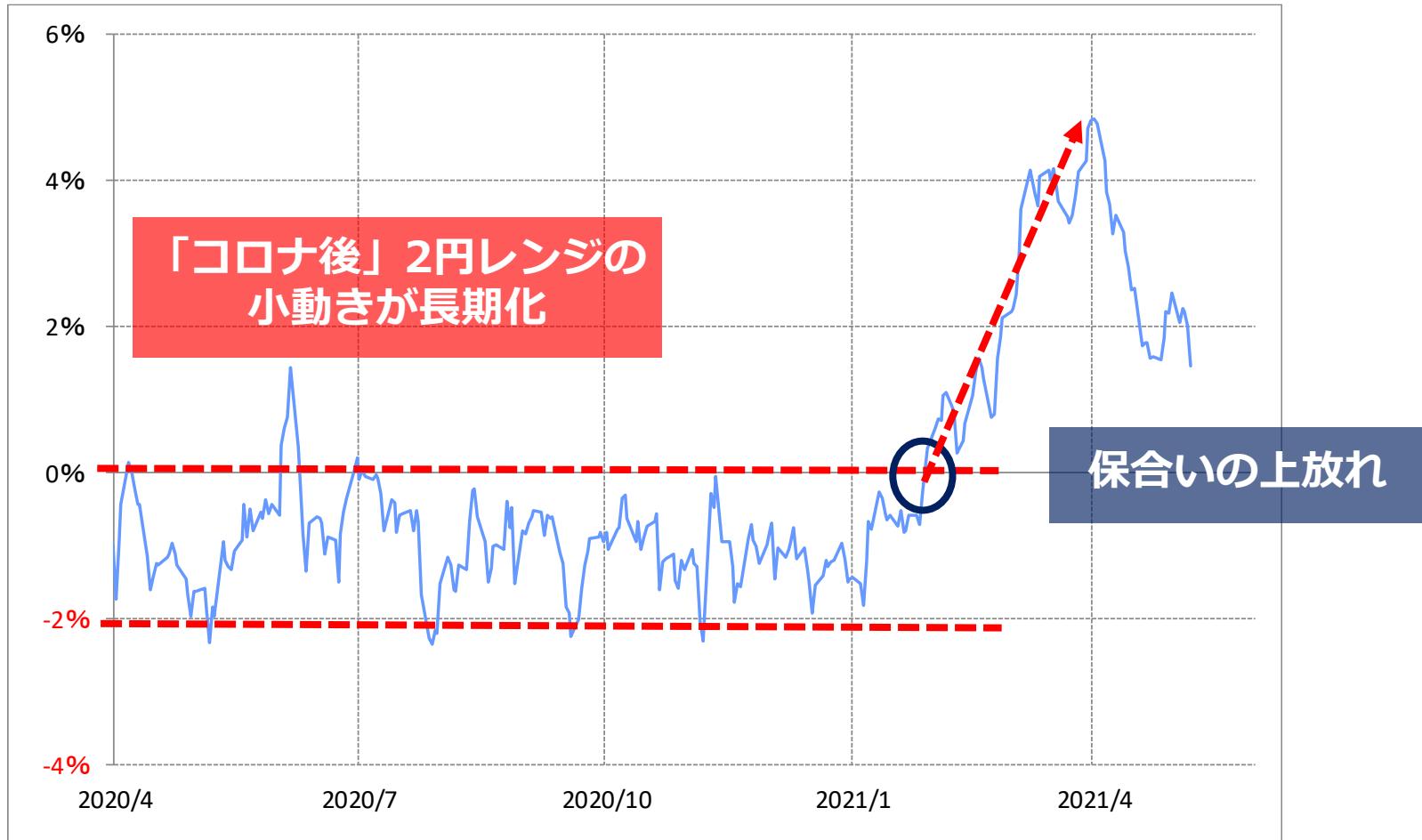
上がり過ぎ



「コロナ後」2円レンジの
小動きが長期化

保合いの上放れ

下がり過ぎ



(出所:リフィニティブ・データよりマネックス証券が作成)

【米ドル/円の90日MAからのかい離率(2012年4月～2013年3月末)】

上がり過ぎ

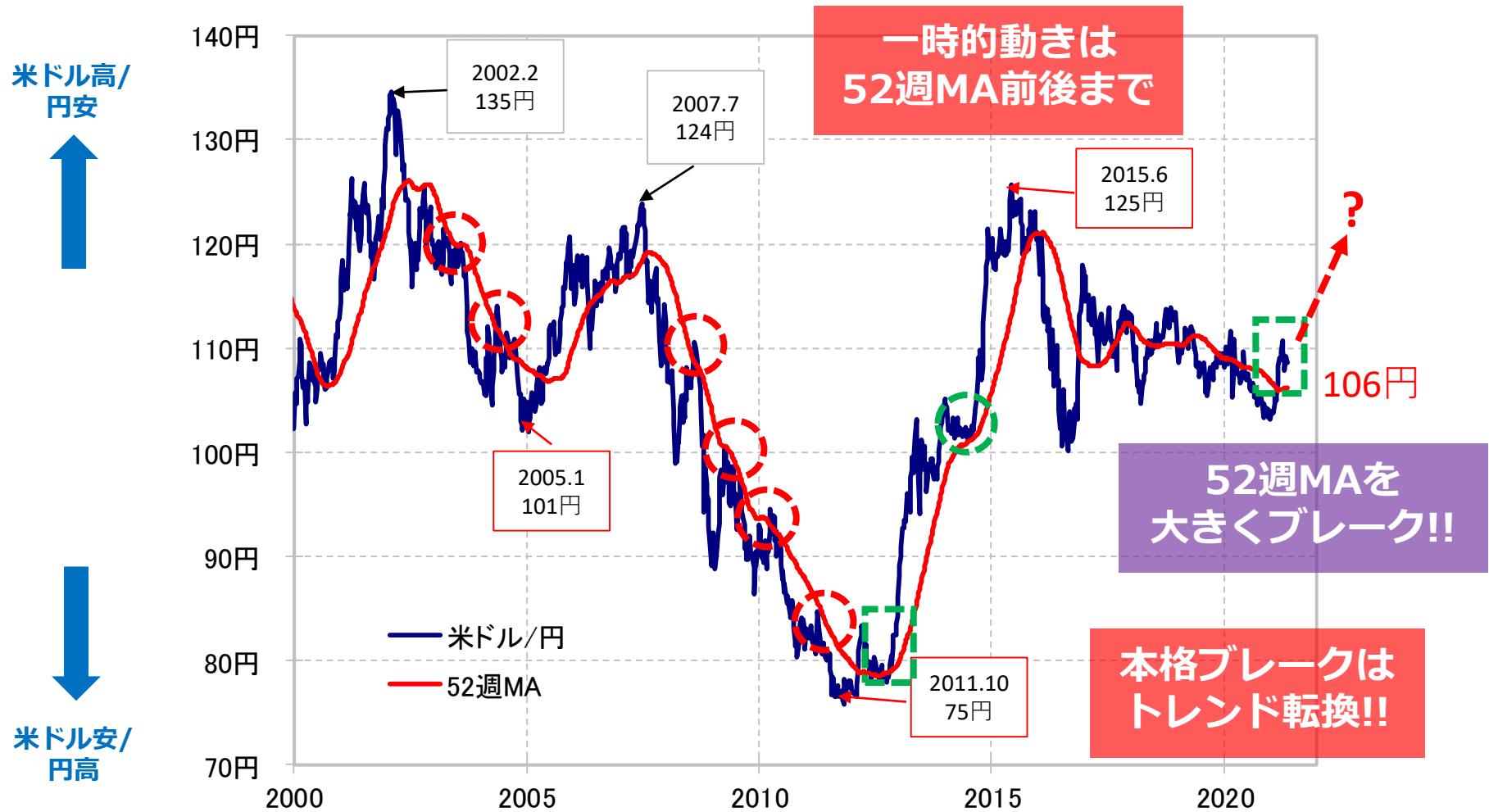


下がり過ぎ



(出所:リフィニティブ・データよりマネックス証券が作成)

【米ドル/円と52週MA (2000年~)】



(出所:リフィニティブ・データよりマネックス証券が作成)

米ドル/円のトレンドとは？

下がっても106円、
2023年120円超へ?!

【2000年以降の米ドル/円のトレンド】

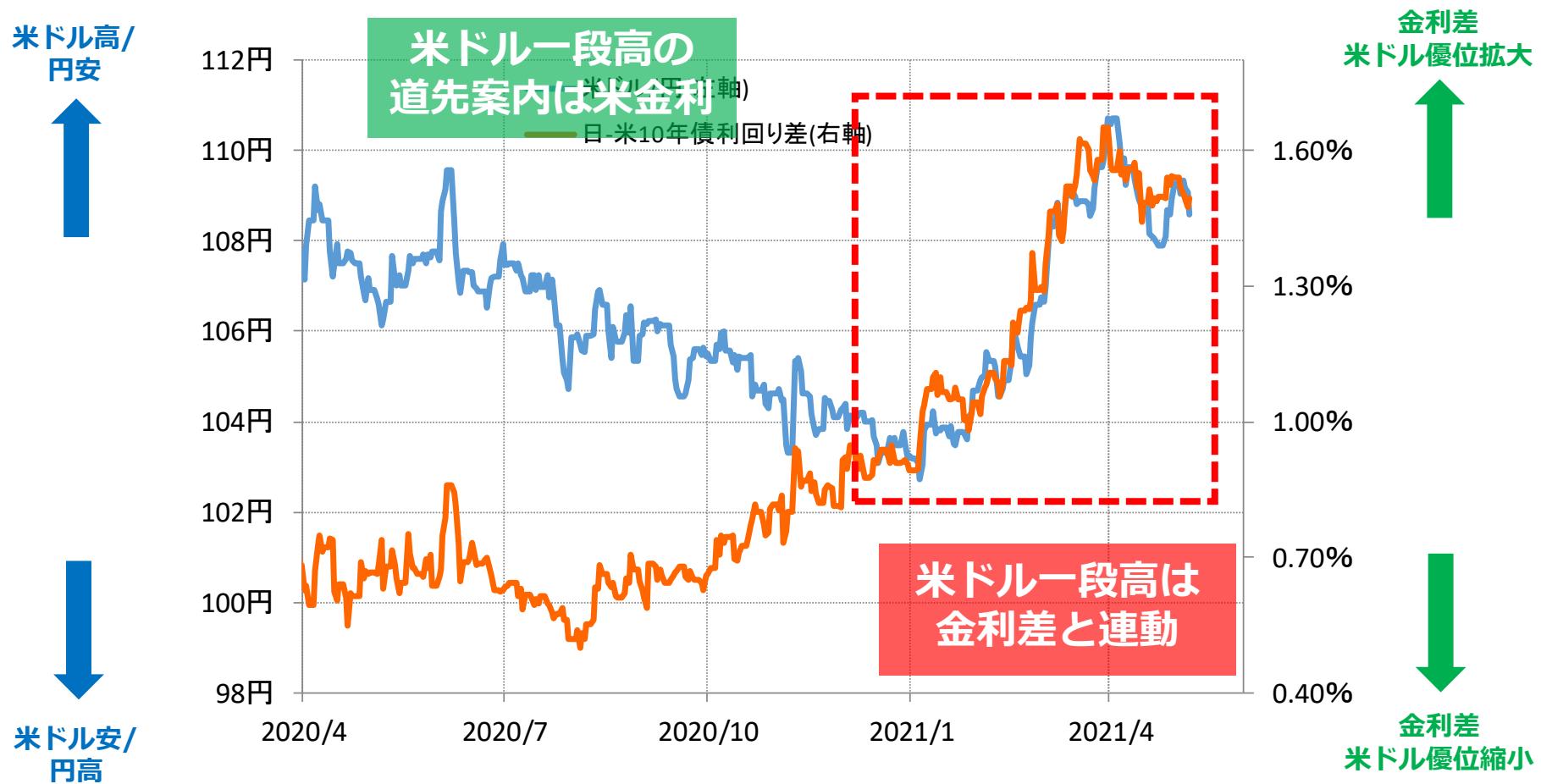
	基調のピーク	継続期間	最大変動率	基調の方向
2000年1月	101円			
2002年2月	135円	2年1ヶ月	33.7%	米ドル高・円安
2005年1月	101円	2年11ヶ月	-25.2%	米ドル安・円高
2007年7月	124円	2年6ヶ月	22.8%	米ドル高・円安
2011年10月	75円	4年3ヶ月	-39.5%	米ドル安・円高
2015年6月	125円	3年8ヶ月	66.7%	米ドル高・円安
2016年6月	98円	1年	-21.6%	米ドル安・円高
2016年12月	118円	6ヶ月	20.4%	米ドル高・円安
2021年1月	102円	4年1ヶ月	-13.6%	米ドル安・円高

*注.最大変動率は対円での米ドルで計算

例外除くと、一方向へ
2年以上、2割以上動く

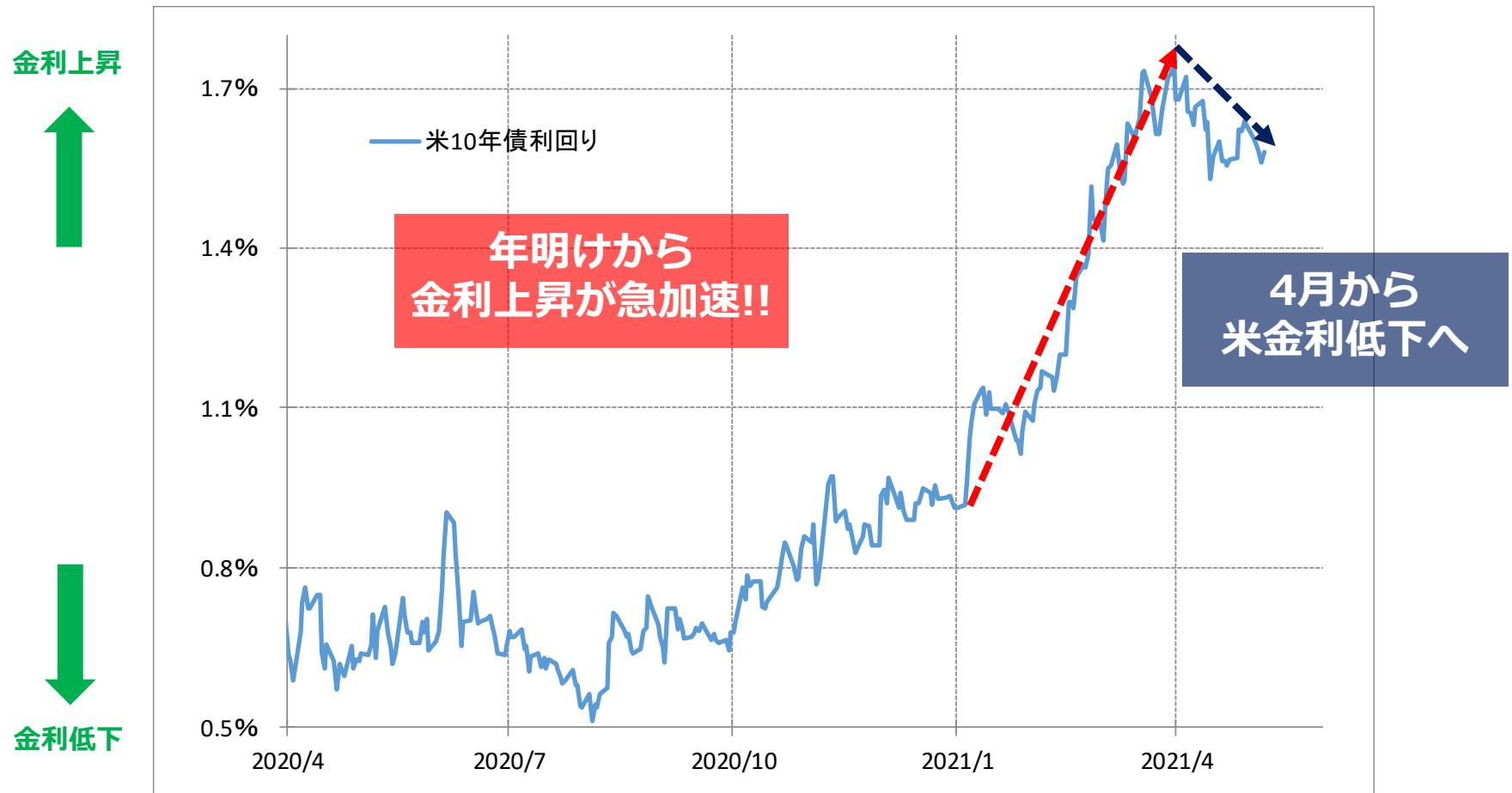
(出所:リフィニティブ・データをもとにマネックス証券が作成)

【米ドル/円と日米金利差(2020年4月～)】



(出所:リフィニティブ・データよりマネックス証券が作成)

【米金利の推移(2020年4月～)】



(出所:リフィニティブ・データをもとにマネックス証券が作成)

【4月に発表されたおもな米景気指標】

	予想	結果
4月ISM製造業景況指数	61.5	64.7
3月雇用統計(NFP)	66万人増	91.6万人増
3月小売売上高	5.8%	9.8%
4月NY連銀景況指数	20.0	26.3

(出所:マネックス証券「経済指標カレンダー」をもとに作成)

ポジティブ・
サプライズの連続!!



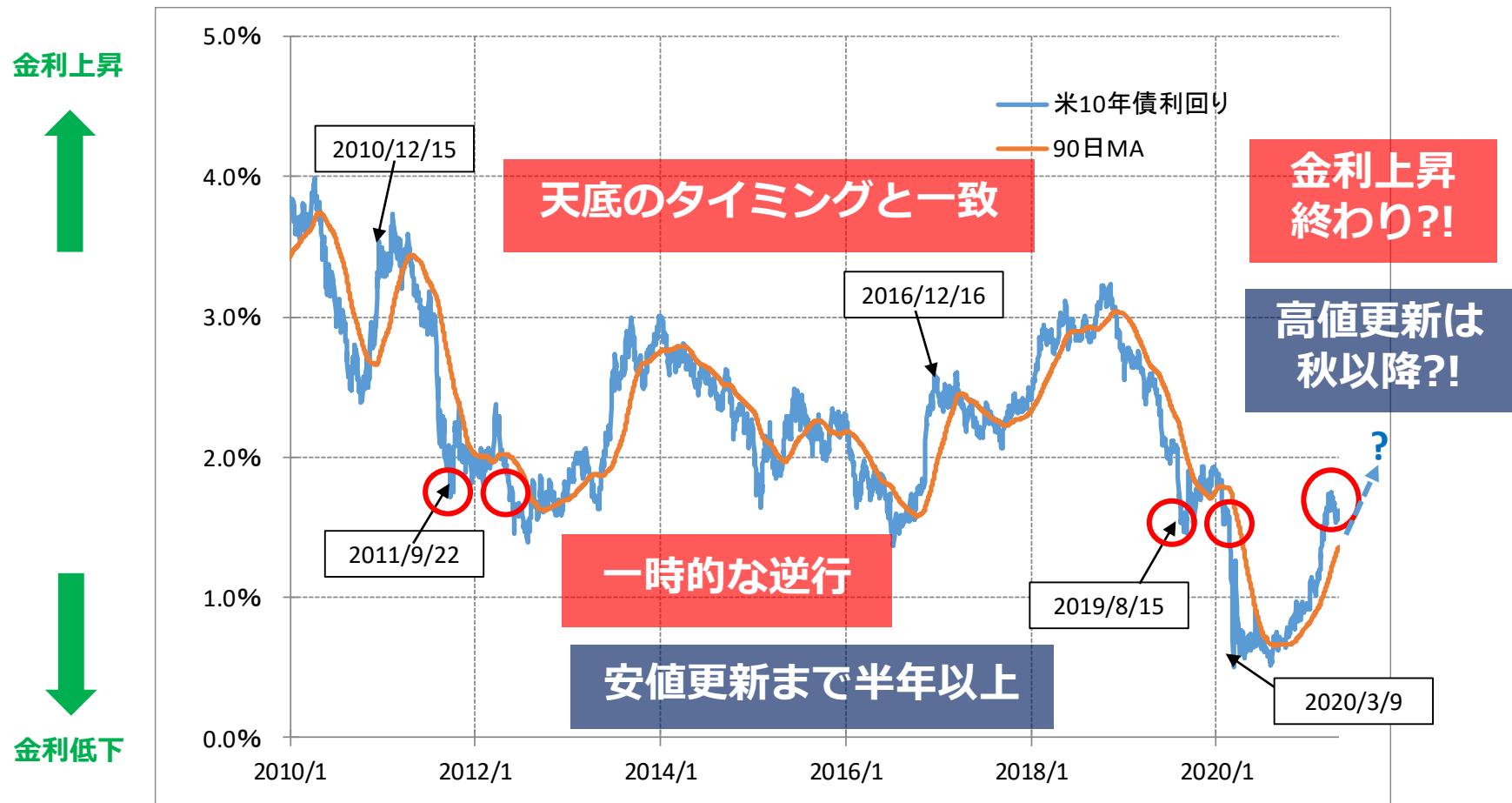
それでも金利低下はなぜ?

【米10年債利回りの90日MAからのかい離率(2010年～)】



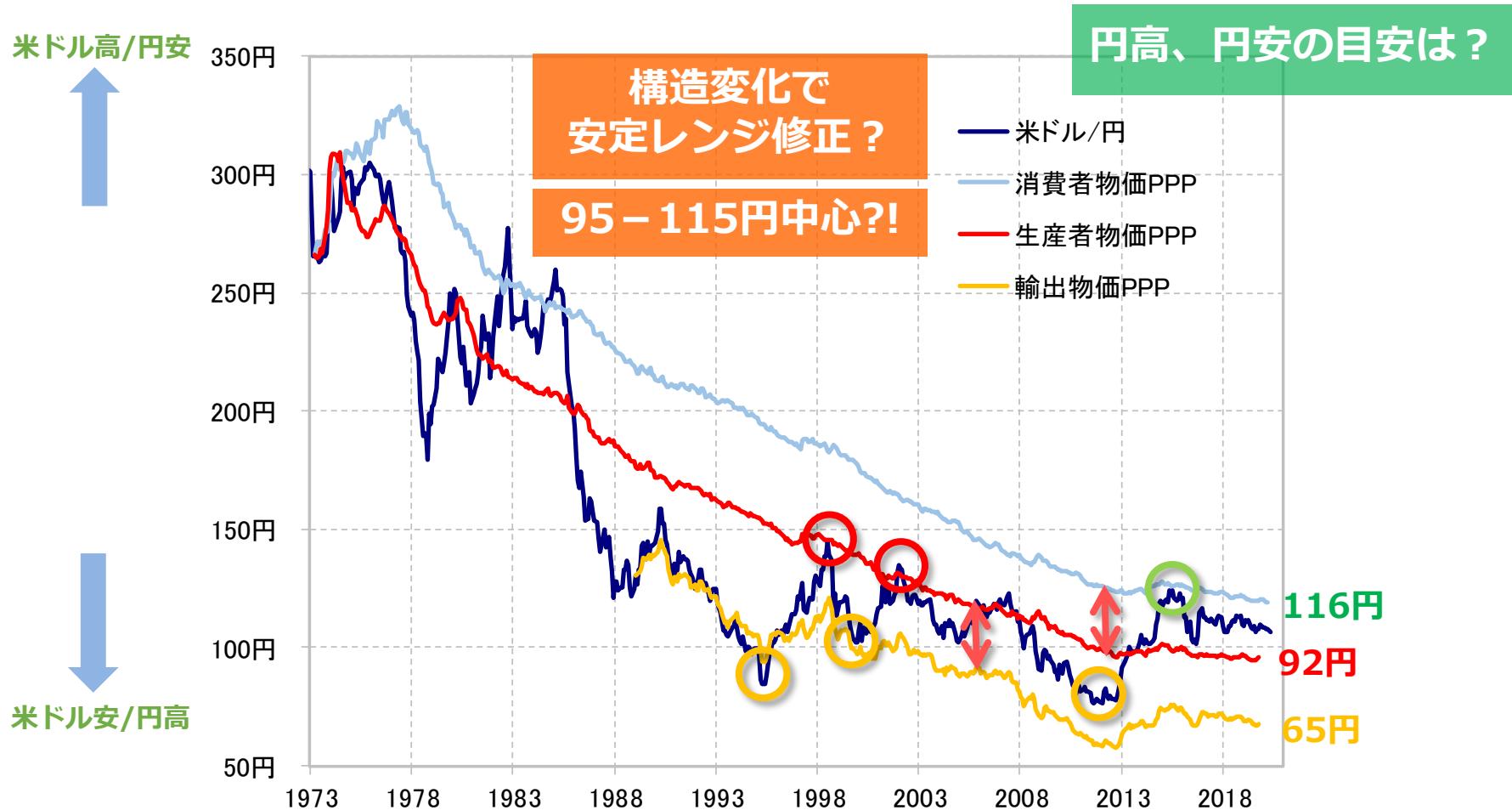
(出所:リフィニティブ・データよりマネックス証券が作成)

【米10年債利回りと90日MA(2010年～)】



(出所:リフィニティブ・データをもとにマネックス証券が作成)

【米ドル/円と購買力平価(PPP)(1973年～)】



(出所:リフィニティブ・データをもとにマネックス証券が作成)